

登録コード	E7223300	開講年度	2026					
授業科目	登山実習						担当教員	瀧 直也
英文授業名	Mountaineering expedition						副担当	
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	実技	遠隔授業科目	備考	
信大コンベンション 該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	学校登山を概観し、登山の基本的技能について指導できるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	登山を中心とした野外活動の専門的な知識、技術、安全な指導方法等を理解することができる。また、北アルプスの自然について理解する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、健康長寿、キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース							
(4)授業の概要	集中授業（9月下旬，4日間）として実施する。 第1日目は，教育学部内において事前学習・準備を行い，その後2泊3日の北アルプス縦走登山を実施する。							
(5)授業計画	①学部での事前学習 ガイダンスの実施 ②集中授業（9月27日(日)～9月30日(水) 1日＋2泊3日） 第1日目：教育学部内において，行動計画，食事計画，パッキング，テント設営，安全管理等の事前学習・準備を行う。 第2日目：教育学部－白馬鍾温泉小屋（テント泊） 第3日目：白馬鍾温泉小屋－白馬鍾ヶ岳－杓子岳－白馬岳頂上宿舎（テント泊） 第4日目：白馬岳頂上宿舎－白馬岳－教育学部，備品の片付け							
(6)成績評価の方法	・授業をととしての授業態度（50%）とレポート（50%）で評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	授業をととしての授業態度では，授業で行う各種活動に取り組めれば「水準にある」、他のメンバーと協調して活動に取り組めれば「やや上にある」，他のメンバーと協調して活動に取り組むとともに登山の高い技能が身に付けば「かなり上にある」，他のメンバーと協調して活動に取り組むとともに登山の突出した技能が身に付けば「卓越している」と評価する。 レポートでは，①問題の設定が適切であり，②その問題の背景を説明できており，③その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，④それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており，⑤その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。① から⑤の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。							
(8)事前事後学習の内容	ガイダンスで説明する内容を理解し，事前に必要な携行品等を準備する。							
(9)履修上の注意	①事前にガイダンスを実施する。ガイダンスに参加しない学生は，授業の参加を認めない。 ②授業に必要な登山靴，雨具、シュラフ、ザック等は，各自で準備する。							
(10)質問，相談への対応及び連絡先	メールにて受付ける。メールアドレス：taki@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	特になし							
【参考文献】	なし							